

就職キックオフ!

校外就職力養成研修



今後の就活スケジュール
企業セミナー 12月8、9日

10月3日、校内での就職活動説明会を皮切りに、本格的な就職活動がスタートしました。そして10月26、28日の3日間、ホテルヘリテイジにて「校外就職力養成研修」が実施されました。

「就職戦線を勝ち抜く基盤を確立する」という目的を掲げ、OBの方による講話やワークショップを通して、「企業」「仕事」「自分」という、就職活動における3つのテーマを考察しました。

本校では年末にかけて、企業セミナーが開催されます。

今年も厳しい就職戦線が予想されますが、自分の考えをしっかりと持つことが、就職活動との格闘意欲と実行力になり、良い就職に結びついていきます。

学生による東日本大震災復興支援活動



活動場所となっているのは、宮城県の気仙沼市と石巻市です。復興は少しずつ進んでいることがうかがえますが、被害が広範囲に及んだ石巻市は、気仙沼市と比較して瓦礫の量も多く、復興にはまだ

2011年3月30日から始まった、学生による東日本大震災の復興支援活動は、10月で10回目を迎えました。

また多くの時間が必要です。

さて、学生による支援活動は、自転車の修



理が中心であった第1回目から半年以上が経過しました。現在は自転車の修理以外に、クルマ

やバイク、発電機などの修理も行えるようになり、累計の修理台数は337台になりました。

これまでおもな活動拠点となっていた避難所の中学校は全て閉鎖されましたが、仮設住宅の方々からは「また来てほしい」という言葉をいただきました。車を手に入れた方が増えているということもあり、今後はクルマの修理依頼が増えるかもしれません。



本田技術研究所 インターンシップ報告会

10月5日、本田技術研究所（二輪ならびに汎用の開発センター）の2拠点で、インターンシップを終えた学生による、報告会が行われました。



10月5日、本田技術研究所（二輪ならびに汎用の開発センター）の2拠点で、インターンシップを終えた学生による、報告会が行われました。報告の中で共通していたことは「もっと視野を広げなくてはいけない」という学生1人ひとりの気付きでした。先生方による総括では、実施前と後での変化、目的の達成度合いを把握するために計画的な行動をするようにとのアドバイスもありました。

500名以上の優秀な自動車開発エンジニア科の学生を企業へ送りだすことが出来ました。また、学生の皆様の若さ溢れるパワーを頂き頑張ってくださいと感謝しております。有難うございました。最後にホンダ学園の益々の発展と皆様のご健康をお祈りいたします。



清水 要司

7月4日をもって、定年退職となりました。学生課の清水です。私は、昭和45年4月に、本田技術研究所に入社し、和光研究所、朝霞研究所で29年間お世話になりました。平成10年3月にホンダ学園に赴任しました。顧みずと、学園では、早いもので13年の月日が流れました。この間、自動車開発エンジニア科でCATIA（基礎）の授業を担当させて頂き、学生課では、学生の就職活動支援で様々な企業を紹介し、就職の橋渡しを行って来ました。お陰様で、在任中、500名以上の優秀な自動車開発エンジニア科の学生を企業へ送りだすことが出来ました。また、学生の皆様の若さ溢れるパワーを頂き頑張ってくださいと感謝しております。有難うございました。最後にホンダ学園の益々の発展と皆様のご健康をお祈りいたします。

退任しました

ツインリンクもてぎ 安全運転講習

SAFETY DRIVE

毎年恒例となっている、2年生を対象とした「ツインリンクもてぎ 安全運転講習会」が、5月下旬から7月上旬にかけ、3グループに分かれて実施されました。

1年生の時の安全運転講習では、クルマやバイクの正しい扱い方と事故を回避するポイント等を学習しました。そして今回の2年生を



対象とした講習では、クルマとバイクの挙動特性と生理的限界を体で理解しながら、事故に遭わない実用的な運転技術を学習していきます。1周4.8kmのコースを使った高速コーナリングや高速ブレーキ、そしてスラロームやスリパリー、車幅感覚、縦列駐車などの訓練を通して、それぞれの運転技術の位置を確認しました。



宮城 光さん Hikaru Miyagi 安全運転講話

7月19日、元Hondaワークスライダーで、現在は解説者として活躍中の宮城光さんによる安全運転講話が行われました。解説者として活躍されている宮城さんの話は聞きやすく、ご自身の経験を元にされていることもあり説得力がありました。

「安全運転」や「交通事故」を身近なテーマとして考えるにはどうしたらよいのでしょうか？

宮城さんは「交通事故加害者」に課せられる5つの責任というお話を、加害者と被害者の視点で解説されました。もし、私たちが事故の加害者や被害者になったらどうなるのか。宮城さんは、私たち一人ひとりが、自分のこととして考えることが、交通事故回避につながることを教えて下さいました。

自衛消防訓練



10月12日、人間東地区消防組合消防本部主催による自衛消防隊消防操法競技大会が開催され、本校からは選抜された3名の職員が出場しました。昨今、事業所や個人宅での防災意識が高まっており、本校でもこうした訓練へ積極的に参加することで、防災意識を高く持つ取り組みを実施しています。大会には19事業所より25チームが参加。本校は努力賞を受賞いたしました。